

令和 7 年度
(2025)

社会福祉法人 やすらぎ会

事業報告書

令和 7 年度 総括

昨年度の法人マイナス収支を改善して、3つの基本方針に基づく事業運営をはかった。3つの基本方針に関して、《安定した法人運営》では、経営基盤を改善すべく収支改善にむけた事業所別年度計画書を作成し施設整備計画や職員研修計画事項を含めた運営、法人資産運用の開始、顧客に対するサービス調査や活動性増進、創立 50 周年記念事業の運営、人材定着にむけた階層別研修や人材確保枠拡充の検討などをはかった。また、《質の高いケアの提供、人材育成と魅力ある職場作り》では、認知症ケア向上にむけた専門医等連携強化、医療機関の連携や感染症対策の強化、生産性向上の促進、職員関連研修の実施、職員雇用環境の整備などをはかった。さらに、《地域福祉の推進》では、在宅関連事業の安定化にむけた話し合い、公益的取り組みの推進、地域住民交流の推進、防災にむけた地域住民参加による災害時避難訓練などをはかった。一方で、人材育成計画作成や人事考課評価の更新ははかれなかった。

また、昨年度では、約 700 万円のプラス収支となったが、各事業稼働率の前年度からの回復による収益増加、物価高騰に伴う支出増加、主に特養介護職員不足および長期従事者の退職による人件費減少、事業費の抑制等により、今年度の事業活動計算書における当期活動増減差額は約 3,800 万円、資金収支計算書における当期資金収支差額は約 5,800 万円のプラス収支となった。

さらに、天理市生活体制整備事業について、天理市から指定された人員の安定確保が行えないことより、次年度天理市との契約更新はしないことになった。

次年度では、未実施項目の実施とともに、法人収支のプラス維持や人材不足解消へのアプローチをはかり、質の高いケアを顧客と地域に提供できるよう事業推進することを目指して、総括に移る。

まず、法人内入所系 4 施設および短期入所生活事業における稼働率は後述の通りである。特別養護老人ホーム（以後、特養）では、入所待機者数が減少傾向である一方で、中重度介護度をもつ利用者の看取り介護による退所が多く（退所 28 件のうち 19 件）、入所待機数が減少傾向のなか、稼働率が昨年度より上昇した。また、短期入所生活介護では、営業活動等により稼働率が上昇したが、短期入所生活介護利用者による特養入所移行が続き（今年度入所者の約半数）、2 月以降稼働率が低下した。次年度では、特養での申込待機者増加にむけた関連事業所への営業活動の継続が求められる。また、グループホームむつみあいやグループホームなごみ筒井では、年度末時点で満床であるものの、慢性的な入所待機者不足もあり、引き続き入居待機者増加にむけた関連事業所への定期的な営業活動等が求められる。さらに、ケアハウスでは、稼働率自体は安定しているが、入居待機者不足により、今後も入居待機者増加にむけた具体的取り組みが求められる。

次いで、在宅各事業においては、居宅介護支援事業所や訪問入浴の実績件数が増加しているが、訪問入浴の職員不足が続いている。

さらに、住まいの生活支援事業と天理市生活支援体制整備事業では昨年度より成約件数や支援件数が減少している。

総じて、令和 7 年度のスローガンを「みんなの笑顔と思いやりで心一つに」と掲げて、職員個々が法人理念に基づく『他者を思いやり、笑顔で関わる』精神をもって顧客や地域に対して誠意をもって尽くしてきた 50 年間の姿が、やすらぎ会への信頼と実績の証であることを認識し、令和 7 年度事業の総括としたい。

「安定した法人運営」における 5 点の推進項目

① 経営基盤の安定化

法人中長期計画に対応しつつ、法人プラス収支を維持するため、事業管理者を主として収支安定にむけた具体的施策や法人資産運用を講じることになっていた。これらに関して、事業別年度計画書に収支安定にむけた対策を明記したうえで、専門会議（8：30 会議）により収支安定にむけた事業毎取り組みの共有と方向性を検討し、各事業所内周知と共有をはかった。結果、今年度の事業活動計算書における当期活動増減差額及び資金収支計算書における当期資金収支差額はいずれもプラス収支となった。また、法人事業収支に基づく横断分析を実施し職員確保難と入所系施設待機者不足が課題として挙げた。さらに、法人資金運用では運用開始以降の損益率は常時プラス推移となった。次年度では、法人収支プラス維持や中長期計画更新にかかる具体的施策を実施したい。

② 事業運営の適正管理

事業管理者と財務担当者が事前協議したうえで次年度予算を作成し事業毎の整備計画を作成することや認証および法定上必要な研修実施体制を構築することになっていた。これらに関して、事業毎の整備計画や研修計画を年度計画に明記したうえで事業管理をはかった。次年度でも、これらを継続しつつ、PC ネットワーク管理の更新や国補助金を活用した施設修繕等整備を実施したい。

③ 顧客満足追及の推進

法人内事業において顧客満足の向上をはかるため、事業別顧客アンケート実施および結果に基づく課題取り組み、顧客の活動性増進にむけた取り組みを実施することになっていた。これらに関して、顧客アンケート結果に基づく課題の取り組みを事業毎で行い、顧客の活動性増進についても 2 件の外部訪問や顧客の外出機会が前年度よりも増加した。次年度では、顧客の更なる活動性増進や職員への接遇マナー研修実施をはかりたい。

④ 創立 50 周年記念事業の実施

法人創設時のころざしと 50 年の歩みを振り返りつつ、内外への感謝とこれからの決意を示すため 50 周年記念事業の運営と実施をはかることになっていた。これに関して、令和 7 年 12 月 3 日に午前では施設内顧客に向けて、午後からは外部に向けて関連式典を実施した。午前の部では約 30 名、午後の部では約 150 名の参加があった。

⑤ 人材定着への取り組みの推進

人材定着にむけて職員間および事業所間交流をはかることや人材育成計画を作成すること、多様な人材確保にむけた取り組みをはかることになっていた。これらに関して、6 月と 9～10 月に階層別研修を実施し、多様な人材確保にかかる検討を 10 月主担者会議で実施した。一方で、人材育成計画が作成できなかった。次年度では、階層別研修の継続と人材育成計画の作成、職員への法人価値観の更なる浸透等をはかりたい。

「質の高いケアの提供、人材育成と魅力ある職場作り」における 5 点の推進項目

① **質の高いケア提供にむけた取り組み**

法人職員が質の高いケアが提供できるよう、認知症ケア向上にむけた専門医等連携や職員研修の検証と改善、業務成果の発表機会を検討することになっていた。これらに関して、認知症専門医と定期的な情報共有をはかるもケア向上にむけた研修等実施までには至らなかった。また、職員研修に関して、研修実施報告書を作成したが全ての事業所での活用までには至らなかった。さらに、業務成果の発表機会について関連会議にて検討したが今年度実施しないとの結論となった。次年度では、職員個々で研修受講する方法を検討しつつ、権利擁護と虐待防止に資する研修等の推進や事業所単位での勉強会実施や業務成果の発表機会の検討をはかりたい。

② **医療機関の連携強化**

顧客に対して安定した医療ケアが提供できるよう、協力医療機関等との連携体制の深化をはかることになっていた。これに関して、運営基準上必要な協定を取り交わしている県内 3 病院（天理よろづ相談所病院、奈良東病院、奈良春日病院）のうち、特に天理よろづ相談所病院とは緊急時での受け入れや相談対応が前年度よりもはかれるようになった。また、介護報酬算定可能な医療連携体制の構築は算定にかかる定期的な情報共有がはかれない事より今年度は実施せず。次年度では、介護職員への吸痰吸引等研修受講の促進や医療的ケアにかかる研修等実施をはかりたい。

③ **感染症対策の強化**

感染症対応強化をはかるため、協力医療機関等との連携による研修や指導体制構築をはかることになっていた。これらに関して、9 月、11 月、2 月に天理よろづ相談所病院主催による感染症関連 ZOOM 研修に法人内職員が参加した。

④ **生産性向上の促進**

業務上での職員の心身負担軽減や業務効率化と生産性向上をはかるため関連する委員会活動を推進することになっていた。これに関して、特養とケアハウスでは年度内に関連会議を実施したが、グループホーム 2 施設については未実施となっている。次年度では、特養、ケアハウス、グループホーム 2 施設に関して定期的に関連会議の実施をはかりたい。

⑤ **魅力ある職場づくりにむけた取り組み**

職員個々が働きがいを感じながら活気ある職場を目指して、階層別研修の実施や人事考課評価の更新、個別研修プログラム内容の検討、雇用環境の更なる整備をはかることになっていた。これらに関して、階層別研修や人事考課評価の更新については前述通り。また、個別研修プログラム内容検討については関連会議が実施できておらず未実施となった。さらに、雇用環境の更なる整備として半日有給の導入や育児介護休業等規則、期末勤勉手当見直しをはかった。次年度では、人事考課評価、階層別研修、個別研修プログラムと連動した人材育成計画作成と実施をはかりたい。

「地域福祉の推進」における 4 点の推進項目

① **在宅関連事業の安定化**

在宅関連事業について、中長期的視点をもって安定した運営を推し進めるための具体的方策を検討することになっていた。これに関して、訪問入浴介護事業については管理者と人材雇用にかかる課題と共有をはかり解決策について検討した。また、天理市生活支援体制整備事業については天理市から指定された人員の安定確保が行えないことより、次年度天理市との契約更新はしないことになった。次年度では、

引き続き在宅関連事業の安定運営について注視したい。

② **地域福祉にむけた公益的取り組みの推進**

公益的取り組みの安定運営にむけて参画の在り方や具体的方法について検討することになっていた。これに関して、これまで生活支援コーディネーター主体で実施していた《福住サロン》について次年度より法人主体で運営をはかることになった。次年度では、地域福祉に資する会合等に参加し、公益的取り組み等を含めた参画の在り方や具体的方法について検討したい。

③ **法人内施設機能活用による地域住民交流の推進**

感染症対策をはかりつつ、法人内施設機能を活用した地域住民との交流機会を推進することになっていた。これに関して、10月にニコニコ広場においてグランドゴルフ大会を実施したほか、11月に山田こども園との交流機会をもった。また、年度内に天理高校 求道部との交流機会を検討していたが先方都合にて中止となった。次年度でも引き続き交流を推進したい。

④ **防災にかかる地域住民との連携強化**

地域での災害発生時において地域住民と円滑な連携がはかれるよう地域住民参加による災害時避難訓練や研修等を検討、実施することになっていた。これに関して、地域住民参加のもと、6月には天理消防署員による救急講習Ⅰ、3月には天理消防署員参加による大規模災害時避難訓練を実施した。次年度でも引き続き地域住民参加による避難訓練等を実施したい。

1. 事業内容

(1) 第1種社会福祉事業

- (ア) 特別養護老人ホームやすらぎ園の経営
- (イ) 軽費老人ホームケアハウスやすらぎの経営

(2) 第2種社会福祉事業

- (ア) 老人短期入所事業（やすらぎ園）の経営
- (イ) 老人居宅介護等事業の経営
- (ウ) 老人介護支援センター 在宅介護支援センターやすらぎの経営
- (エ) グループホームむつみあいの経営
- (オ) グループホームなごみ筒井の経営

(3) 公益事業

- (ア) 訪問入浴介護事業の経営
- (イ) 居宅介護支援事業の経営
- (ウ) 地域支援事業（天理市東部地域包括支援センター・天理市生活支援体制整備事業）の経営
- (エ) 介護予防支援事業の経営
- (オ) 住まいの生活支援事業の経営
- (カ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業の経営
- (キ) 介護予防・日常生活支援総合事業の経営
- (ク) 法人後見事業

2. 理事会・評議員会・監事監査等開催

月	会 議	内 容
5	監 事 監 査 理 事 会	監事による令和6年度の法人運営及び会計について 第1号議案：2024年度（令和6年度）計算書類（貸借対照表及び収支計画書）及び財産目録の承認について 第2号議案：監事監査（2024年度事業について令和7年5月30日実施）の報告及び第一号議案承認の場合の社会福祉充実残額について 第3号議案：2024（令和6）年度事業報告書案の承認について 第4号議案：次期理事及び監事評議員選任候補者推薦案について 第5号議案：役員等損害賠償保険の契約（更新）について 第6号議案：電力購買先変更について 第7号議案：2025年度（令和7）年度定時評議員会の開催及び招集について
6	定時評議員会 理 事 会	第1号議案 2024（令和6）年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 第2号議案：任期満了に伴う理事及び監事の選任について 第1号議案：理事長の選定について 第2号議案：業務執行理事の選定要否について 第3号議案：評議員選任・解任委員の選任について
9	理 事 会	第1号議案：委託給食会社との契約等について 第2号議案：就業規則、給与規定変更案について
11	理 事 会	審議決議事項なし 定時報告事項：1件、随時報告事項：9件
2	書面理事会	ケアハウスやすらぎ ケアコール入替工事について
3	理 事 会	第1号議案：2026年度事業計画案及び当初予算案について 第2号議案：就業規則・給与規程・経理規程・職員給与に係る独自手当支給規程の変更案について 第3号議案：次期評議員選任候補者推薦案について及び評議員選任解任委員会の招集について 第4号議案：天理市生活支援体制整備事業廃止について

3. 入所系施設 感染症等罹患状況

施設	階	令和7年度
特養	2F	コロナ感染：①7/19～7/30 入居者5名 ②11/7～11/14 入居者1名
	3F	コロナ感染：9/8～9/17 入居者6名、職員2名
ケアハウス		コロナ感染：10/4～10/6（自宅外泊のため） 入居者1名

3. 事業別稼働率及び事業内容

(1) 第一種社会福祉事業

特養	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	摘要
退入所件数	退 28 件 入 30 件	退 37 件 入 38 件	退 37 件 入 37 件	件数減少 件数減少
延在園日数	34,027 日	33,904 日	34,199 日	日数増加
延入院・外泊人数	51 人	85 人	75 人	人数減少
延入院・外泊日数	549 日	905 日	926 日	日数減少
平均稼働率	93.22%	92.89%	93.44%	率増加
平均要介護度	3.60	3.66	3.74	介護度減少
ケアハウス	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	摘要
退入居件数	退 1 件 入 2 件	退 3 件 入 3 件	退 1 件 入 1 件	件数減少 件数減少
延在居日数	3,650 日	3,650 日	3,650 日	日数変化なし
平均稼働率	100%	100%	100%	稼働率変化なし

(2) 第二種社会福祉事業

短期入所生活介護	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	摘要
延利用件数	508 件	523 件	669 件	件数減少
延在園日数	3,458 日	3,391 日	3,223 日	日数増加
平均稼働率	94.74%	92.9%	88.06%	率増加
平均要介護度	3.10	2.61	3.09	介護度増加

居宅介護支援	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	摘要
実績延件数	1,326 件	1,281 件	1,155 件	件数増加
介護支援専門員数	2.0 人	2.0 人	2.6 人	人数横ばい

グループホーム むつみあい	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	摘要
退入所件数	退 12 件 入 15 件 ※SS 含む	退 4 件 入 4 件	退 3 件 入 3 件	件数増加 件数増加
延在所日数	6,380 日	5,656 日	6,467 日	日数増加
平均稼働率	97.11%	86.79%	98.61%	率増加
平均要介護度	3.10	2.97	2.87	介護度増加

グループホーム なごみ筒井	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	摘要
退入所件数	退 1 件 入 1 件	退 1 件 入 1 件	退 0 件 入 1 件	件数横ばい 件数横ばい
延在所日数	3,151 日	3,061 日	3,142 日	日数増加
平均稼働率	95.92%	91.96%	92.90%	率増加
平均要介護度	2.80	3.19	3.21	介護度減少

(3)公益事業

訪問入浴介護事業	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	摘要
実績延件数	2,291 件	1,988 件	2,234 件	件数増加
稼働職員常勤換算数	5.26 人	5.42 人	5.36 人	職員減少

天理市東部地域包括支援センター	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
介護保険制度及び福祉サービスの総合相談・高齢者虐待・権利擁護・成年後見の相談	○総合相談 延べ 1,156 件 ○高齢者虐待相談・支援 4 件 ○権利擁護、成年後見相談・支援 延べ 34 件	○総合相談 延べ 1,206 件 ○高齢者虐待相談・支援 3 件 ○権利擁護、成年後見相談・支援 延べ 34 件	○総合支援 延べ 2,561 人 ○高齢者虐待相談・支援 0 件 ○権利擁護、成年後見相談・支援 延べ 89 件
介護予防支援及び介護予防・日常生活支援総合事業等介護予防業務	○介護予防ケアマネジメント 年間プラン作成数 2,234 件（自法人 980 件、委託 1,254 件） ○C 型サービス作成 7 件 ○高齢福祉サービスによる安否確認 8 件 ○高齢福祉サービス相談 105 件 ○認知症サポーター養成講座 3 回開催 ○介護予防普及啓発 1 件（健康に関すること、通いの場維持、重度化防止に関する教室）	○介護予防ケアマネジメント 年間プラン作成数 2,107 件（自法人 949 人、委託 1,158 件） ○C 型サービス作成 2 件 ○高齢福祉サービスによる安否確認 3 件 ○高齢福祉サービス相談 116 件 ○認知症サポーター養成講座 1 回開催 ○介護予防普及啓発 2 件（健康に関すること、通いの場維持、重度化防止に関する教室）	○介護予防ケアマネジメント 年間プラン作成数 3,034 件（自法人 1,974 人、委託 1,060 件） ○C 型サービス作成 2 件 ○高齢福祉サービスによる安否確認 8 件 ○高齢福祉サービス相談 770 件 ○認知症サポーター養成講座 0 回開催 ○介護予防普及啓発 8 件（健康に関すること、通いの場維持、重度化防止に関する教室）
包括的・継続的ケアマネジメント	○困難支援への助言・指導 年間 104 件 ○動機づけ支援『ロバの耳』相談はなかったが、関係者相談を行った。	○困難支援 ○動機づけ支援『ロバの耳』相談はなかったが、関係者相談を行った。	○困難支援への助言・指導 年間 154 件 ○動機づけ支援『ロバの耳』相談はなかったが、地域ケア会議内困難ケース共有支援は 3 件実施
一人暮らし高齢者等実態把握	○329 件実施	○406 件実施	○独居高齢者一覧に基づく実態把握 769 件のうち独居見守り 359 件
サロン等地域づくり	○サロン開催 11 件 ○地域リハビリテーション活動 4 件 ○通いの場：新規 2 か所立ち上げ実施 ○配食ボランティア 2 人	○サロン開催 5 件 ○地域リハビリテーション活動 8 件 ○通いの場：新規 2 か所立ち上げ実施 ○生活アンケート 1 か所『地域ケア会議』として定期的に話し合い実施	○サロン開催 11 件 ○地域リハビリテーション活動…生活支援コーディネーターと連携にて 6 か所実施 ○通いの場…新規 3 か所立ち上げ実施 ○生活アンケート実施 1 か所、地域の自主ボランティア立ち上げ実

			施
--	--	--	---

住まいの生活支援事業	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
転居等に関する総合相談	相談件数 23 件 成約件数 11 件	相談件数 46 件 成約件数 19 件	相談件数：29 件 成約件数：6 件
広報及び体制構築活動	なし	○奈良県社会福祉協議会より、町村部における生活困窮者自立支援事業の住居確保等支援事業の一部の再委託 →事業終了	○奈良県社会福祉協議会より、町村部における生活困窮者自立支援事業の住居確保等支援事業の一部を再委託
外部発信	○奈良県居住支援協議会 ○全国居住支援法人協議会 ○静岡県宅建協会 ○天理市なんでも相談会実行委員	○奈良県居住支援協議会 ○全国居住支援法人協議会 ○奈良県居住支援サミット実行委員会 ○奈良県居住支援サミット（シンポジスト） ○静岡県宅建協会 ○天理市なんでも相談会実行委員 ○「奈良県における今後の居住支援対策案」にかかるご意見をいただく会 ○「news おかえり」取材、放映 ○「読売新聞」取材、記事掲載	○鳥取県居住支援協議会セミナー講師 ○天理市なんでも相談会実行委員 ○第 3 回居住支援サミット実行委員、パネリスト ○全国居住支援法人協議会アドバイス事業講師 ○奈良県社会福祉協議会「生活困窮にかかる住まいの学習会」講師 ○奈良県居住支援リーダー研修会実行委員 ○けんりようごねっと奈良学習会講師

天理市生活支援体制整備事業	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
地域資源、ニーズ把握、関係団体との連携等	○各種団体の会議等に参加し関係性の構築、地域の情報の共有	○各種団体の会議等に参加し関係性の構築、地域の情報の共有	○各種団体の会議等に参加し（のべ 12 回）関係性の構築、地域の情報の共有 ○茶話会等実施し、ニーズ把握
地域の支え合い、介護予防推進に関する普及啓発	○福住公民館祭り・山田公民館祭りでのブース展示、モルック体験会実施 ○各種イベントへの参加…アルツハイマーディ、ボランティアの集い	○福住公民館祭り・山田公民館祭りでのブース展示、モルック体験会実施	○出前講座…介護予防教室を 4 カ所実施。 ○福住公民館祭り・山田公民館祭りでのブース展示、モルック体験会実施 ○各種イベントへの参加…かくれんぼ・アルツハイマーディ・RUN 伴・ボランティアの集い
通いの場創出、後方支援	○通いの場新規立ち上げ…2 件（二階堂校区 1 カ所、井戸堂校区 1 カ所）	○相談・成約件数（のべ）…90 件 ○通いの場新規立ち上げ…2 件	○通いの場新規立ち上げ…4 件（福住校区 2 カ所、井戸堂校区 2 カ所）地域診断による「通いの場空白地」へアプ

			ローチ行い新規立ち上げを実施。 ○通いの場後方支援…既存の通いの場への定期的な訪問を実施することと併せて、地域リハビリテーション事業（体力測定）を9カ所で実施。 ○サロンの開催等支援…プログラムの内容相談等、後方支援を実施。
生活支援等サービスの実施、担い手の養成	○生活支援サービス…のべ96回実施（継続支援80件、単発支援16件） ○ポイント券の販売…14名に対し、計386枚96,500円を販売。ポイント券の管理と売上金の管理を行った。 ○担い手の養成…二階堂校区たちばな集会所で「てんさぼ養成講座」を実施。	○生活支援サービス ○ポイント券の販売	○生活支援サービス…のべ81回実施（継続支援57件、単発支援24件） ○ポイント券の販売…20人に対し、計356枚89000円を販売。ポイント券の管理と売上金の管理を行った。 ○担い手の養成…やすらぎ会職員有志・OBに向け「てんさぼ養成講座」を実施。19名が登録し、専門性を活かした幅広い支援を実施。
CSW活動、その他地域づくりに関する取り組み	○CSW活動 ○福住校区「農村RMO」の会議に参加	○CSW活動	○CSW活動…個別支援の必要な3名の方を関係機関へ繋ぐ ○みんなの学校プロジェクト…東部地域包括支援センターと協働で、福住中学校1年生に向けて4コマの福祉授業を実施。地域の支え合いに関する講話を担当。中学生と地域の方（GHむつみあいからも2名参加）と一緒にモルックを実施。 ○福住上入田地区で住民ボランティアの立ち上げを支援。

法人後見事業	令和7年度	令和6年度	令和5年度
受任件数	1件（類型：保佐）	1件（類型：保佐）	1件（類型：保佐）

4. 年間実施行事

（敬称略）

月	法人内行事	定例行事	ボランティア等主催行事
4	入職者式・花見行事	月次祭 講社祭 特養フロアレクレーション CH懇談会 GHなごみ筒井避難訓練（日中、夜間）	全教一斉ひのきしんデー
5	GHむつみあい開設記念式典・GHむつみあい通報避難訓練・特養通報避難訓練		PONウクレレ演奏
6	消防設備点検・CH総合訓練		
7	職員健康診断・GHむつみあい通報避難訓練		
8	GHなごみ筒井、GHむつみあい、CH夏祭り・非常災害、BCP想定訓練		

9	敬老関連行事・特養秋祭り		PON ウクレレ演奏,猛鼓会訪問 (特養秋祭り)
10	福住 3 施設合同夜間避難通報訓練・特養避難通報訓練・GH むつみあい, なごみ筒井運動会・地域交流グランドゴルフ大会		
11	利用者採血・利用者、職員インフルエンザ予防接種・GH むつみあい通報避難訓練・CH 夜間総合訓練		山田こども園訪問
12	創立 50 周年記念式典,感謝の集い・特養,GH むつみあい,なごみ筒井クリスマス行事		天理市長寿会訪問
1	元旦祭・特養、CH、GH なごみ筒井正月関連行事		
2	節分行事・GH むつみあい通報避難訓練		
3	ひな祭り行事・福住 3 施設大規模災害想定総合訓練		

※GH (グループホーム)、CH (ケアハウス)

5. 職員採用・退職状況

	採 用 者	退 職 者
特養介護員	10 名	7 名
特養管理栄養士	1 名	0 名
GH 介護員	7 名	7 名
合 計	18 名	14 名

6. 実習受入状況

実習機関及び実習名称	担 当 者
天理大学 看護学科生	畝本 智美
天理教校 本科実践課程	白須 真人
天理大学	辻本 健二
日本福祉大学 中央福祉専門学校	樋口 雅史

7. 会議実施状況

法 人	職員会	特に周知を必要とする情報及び責務等についての徹底を図るとともに、労務及び福利等に関して、全職員が一同に会して議論共有する。
	各職種責任者会議	職種の現況における課題に基づき、主担当者間にて情報分析と課題の解決に向けた議論や提議を行うことを目的に年数回程度開催する。
三施設	特養関連会議	特養関連部署間で、部署間の連携を深め共通の課題・目的等を共有し、相互関係が創出できることを目的に開催する。

	求食会	利用者様の「食」に関する課題解決のために、2～3ヶ月に1回程度、栄養士や調理員が中心となり、各職種間で意見交換を行う。
特 養	入所検討委員会	介護保険法に基づき、月1回程度、施設入所の選考に る事務を実施するとともに入所全般の業務を円滑に 行うことを目的に開催する。
	各階カンファレンス	利用者様との契約として必須であるケアプラン策定 のために、介護支援専門員主導のもと、関連職種が 処遇上の意見交換を行う。
	看護室会議	特養看護職員が看護に関わる業務を円滑に行うため に、月1回程度、全スタッフの情報交換と意思疎通 を図ることを目的に開催する。
	各介護員会	サービスの質を高めるとともに業務行動としてのレ ベル向上を目的に、月1回程度、各フロア・ユニッ ト介護員が議論共有することを目的に開催する。
グループ ホーム	責任者会議	責任者・ユニットリーダーが入居待機者や行事全般 及び各種事業改善のために月1回程度情報共有と意 見交換することを目的に開催する。
	グ ル ー プ ホ ー ム 定例会議	事業全般に関わる業務を円滑に行うために、月1回 程度、全スタッフの情報交換と意思疎通を図ること を目的に開催する。
	運営推進会議	地域密着型サービス特性を活かし、入居者様・職員・ 理市介護福祉課・地元地域民生児童委員がグループホ ームの運営について情報共有を図り、地域に開かれた グループホームとすることを目的に開催する。
ケア ハウス	ケアハウス会議	ケアハウス事業全般に関わる業務を円滑に行うため に、月1回程度、管理者及び全スタッフの情報交換と 意思疎通を図ることを目的に開催する。
在宅系	地域推進会議	在宅関連部署間で、各事業の独立性を活かしつつ も、事業の運営の成果や課題を共有することで、枠 を超えた連携を図ることを目的に開催する。
	居宅関連会議	在宅に関連する職員が月1回程度会し、在宅事業に おけるサービスの質の向上と危機管理の徹底を図る ことを目的とする。
訪問 入浴	訪問入浴会議	訪問入浴事業全般に関わる業務を円滑に行うため に、月1回程度、全スタッフの情報交換と意思疎通を 図ることを目的に開催する。

8. 委員会等設置状況

各委員会		
事故対策委員会 (身体拘束等適正化委員会、虐待防止 委員会、リスクマネジメント委員会)	サービス向上委員会	防災防犯委員会
行事委員会	求食委員会	入所検討委員会
福利委員会	広報委員会	安全衛生委員会

キャリアパス委員会	メンタルヘルス委員会	生産性向上委員会
各部門管理者		
法令遵守責任者	辻本 健二	
防火管理者	河合 智哉	
介護労働者雇用管理責任者	米田 敦志	
衛生管理者	安田 直樹	
安全運転管理者	白須 真人	
各担当者		
苦情受付担当者	特養：菅野 光太郎 在宅：前川 真治 CH：吉田 昌美 GH：森 健一	
苦情解決責任者	安田 直樹	
パート労働者相談窓口	杉浦 直子	
ハラスメント相談窓口	辻本 健二、杉浦 直子	
特定個人情報事務取扱責任者	安田 直樹	
特定個人情報事務取扱者	安田 直樹、東 栄都子	
雇用管理の改善等に関する事項に係る相談窓口	安田 直樹	
ストレスチェック実施者	カウンセリングストリート(株)	
ストレスチェック事務従事者	安田 直樹、東 栄都子	
GH むつみあい計画作成担当者	森 健一、榎田 智広	
GH なごみ筒井計画作成担当者	中村 太	
法人人事担当者	辻本 健二	
法人労務担当者	安田 直樹	
法令遵守担当者	安田 直樹	
P C ネットワーク管理者	安田 直樹	
出張所総務担当	前川 真治	
グループホーム相談役	辻本 健二	

＊ 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない